

第2回 (7/1号)

水稻病虫害発生予察の結果について

※大仁地区では、移植日が早いため第1回として、6/17日大仁地区圃場のみで水稻予察を実施させていただきました。

① 生育状況

生育状況は、昨年と比べて生育が遅れている状況でした。

分けつ数が【韮山地区では7～12本】【江間地区9本】【大仁地区13～23本】

【浮橋19.5本】【田原野では28.5本】で田原野では中干し適期を迎えていました。

今年の6月と比べて平均気温が3.3度低いことから生育が遅れ、昨年と比べて日照量が少なく特に深水管理をしている圃場では苗の軟弱徒長が散見されました。特に分けつが遅れている圃場では浅水管理をご検討ください。

浅水にすると雑草が増える可能性があるのでご自身の圃場状況を確認し判断してください。

中干し期間の目安は田面に軽くヒビが入る程度まで実施するようお願いします。

② 病虫害状況

今回の調査では、夏ウンカ・ヨコバイともに各地区で発生は確認されませんでした。

韮山地区、大仁地区ではジャンボタニシの発生が確認されています。ジャンボタニシの卵が確認された際には、捕殺し、スクミノンの散布や浅水管理での行動範囲を制限して水面上にある苗の食害を防ぐことが重要です。

※卵には毒（成貝には寄生虫）があるので、素手で触れないようにして下さい。

○スクミノン粒剤（殺虫剤）

使用量：1～4kg/10a 3,290円/1袋(2kg)

対象病虫害：スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

時期：収穫60日前まで

備考：速効性あり、多発生時に散布

③ その他

ケイ酸カリの施用を予定している方は、下記の施用基準を参考に施肥を検討下さい。ケイ酸カリは倒伏防止や食味向上、高温障害対策の効果が期待できます。

○ケイ酸カリ 20～40kg/10a 3,290円/1袋(20kg)

※出穂35～45日前が効果的。（中干しの1週間前が目安。）

※元肥でケイ酸カリ、ケイカルを施用されている方は追肥の必要はありません。

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。